



サプライヤー管理基準

はじめに

キャボットは、その業務遂行にあたり誠実に最も高水準の倫理基準に基づき遂行することを目指しています。この目的を達成するため、キャボットは、Global Ethics and Compliance Standards（倫理及び法令遵守グローバル基準）を定めていますが、サプライヤー様におかれましても、この基準に従うことを期待します。この基準に含まれる主な方針は以下の通りです。

◆ 贈答品、心づけ

キャボットの従業員は、価格設定、条件、もしくは融資における、個人的な優遇措置を強要するため、特別なビジネスチャンスを確認するため、あるいは、有利な待遇を得るため、現在もしくは将来のいかなるサプライヤーからも、個人的贈答品や便宜、接待、サービスを要求したり、受け取ったりすることは決してありません。現金あるいは現金に相当するものを、贈答品として受け取ることも、決してありません。

◆ 不適切な報酬

キャボットは、現在もしくは将来のいかなるサプライヤーからの賄賂、リベート、裏金及び違法な報酬は全て不適切であり、これらはキャボット社が商取引を行う全ての国において、禁じられています。キャボット社及びその関係者に対する不適切な報酬も、厳格に禁じられています。

◆ 労働慣行と差別

サプライヤーは、賃金や労働時間に関して、地域もしくは国家のあらゆる労働法に従う必要があります。キャボットは雇用において、多様性を重んじ、平等な機会を尊重します。キャボットは、違法な雇用差別、児童労働や強制労働に関与するいかなるサプライヤーも認めません。

◆ 環境への責任

キャボットは、関連する法律や行政に完全に従って、キャボットの操業を管理することを約束します。キャボットの工場設備は、操業を行っている地域社会に十分な配慮をした上で、環境への影響が最小限になるべく操業されています。キャボットはサプライヤーにも、同様の価値観を共有することを期待します。

◆ 安全性

キャボットは、業者や来客を含む全関係者のために、キャボットの操業の安全性を確保すべく最大限の取り組みを実施しています。あらゆる災害は事前に防げるものであることを固く信じ、誰一人として災害に遭うことがないように、多大な時間と労力を費やしています。キャボットは確固とした安全管理プログラムを履行し、安全性に関連する絶え間ない改善の信念に取り組むことを、サプライヤーに望みます。

キャボットは、上記の方針に反する全ての団体との取引関係を終結させる権利を有します。この基準はキャボット社のホームページ (cabotcorp.jp) 上の「キャボットについて-企業倫理規範」の見出しから入手できます。